

# 令和5年度農作物病虫害発生予察注意報第4号

令和5年8月31日  
山口県病虫害防除所

病虫害名 果樹カメムシ類  
(クサギカメムシ、チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ)

対象作物 カンキツ、ナシ、リンゴ等果樹全般

1 発生地域 県内全域

2 発生時期 9月～10月

3 発生程度 やや多

## 4 注意報発令の根拠

- (1) 果樹カメムシ類の主要な餌となるスギ・ヒノキの球果量調査では、着果が過去10年で最も多く、山林に生息するカメムシ類は多いと考えられる(図1)。
- (2) 予察灯(県内4か所、7月29日～8月28日合計)における果樹カメムシ類の誘殺数は541頭(平年510頭)で、8月中旬以降に急増している(図2)。
- (3) 今後、山林で増殖した果樹カメムシ類が果樹園へ飛来して被害が発生することが予想される。

## 5 防除方法

- (1) 果樹園への飛来に注意し、飛来を確認したら直ちに薬剤散布を行う。
- (2) 薬剤散布後も園内を観察し、再度飛来を確認した場合は追加の散布を行う。
- (3) 防除薬剤は、別添表を参考にする。

## 6 防除上注意すべき事項

- (1) カンキツ類は、着色前の果実でも吸汁されると果実内部が褐変し、落果するため特に注意する。
- (2) ナシ等の有袋栽培であっても、果実肥大により果実が袋に接した時期に加害されるので注意する。
- (3) これから収穫期を迎える果樹が多いため、収穫前日数や使用回数を考慮して、事前に薬剤を準備する。
- (4) カメムシ類に対する薬剤散布によりハダニが増殖する可能性があるため、カメムシ防除を行った場合はハダニの発生状況に注意する。
- (5) 薬剤散布の際は、農薬使用基準を遵守し、周辺作物への飛散を防止するとともにミツバチ等の有用生物へ危害を及ぼすことがないよう十分注意する。

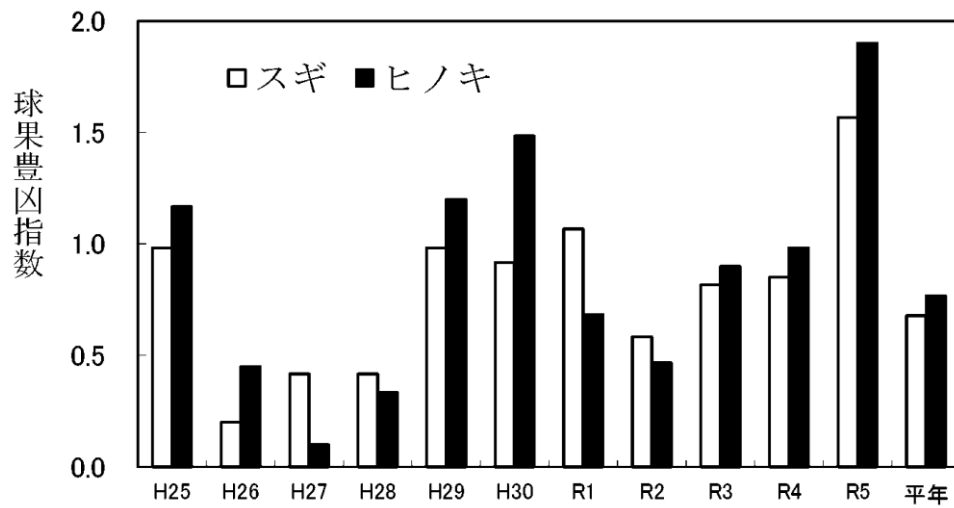


図1 スギ・ヒノキの球果量調査 (県内6か所平均)

※球果豊凶指数:着果量が少を0、中を1、多を2として評価した10樹の平均値。

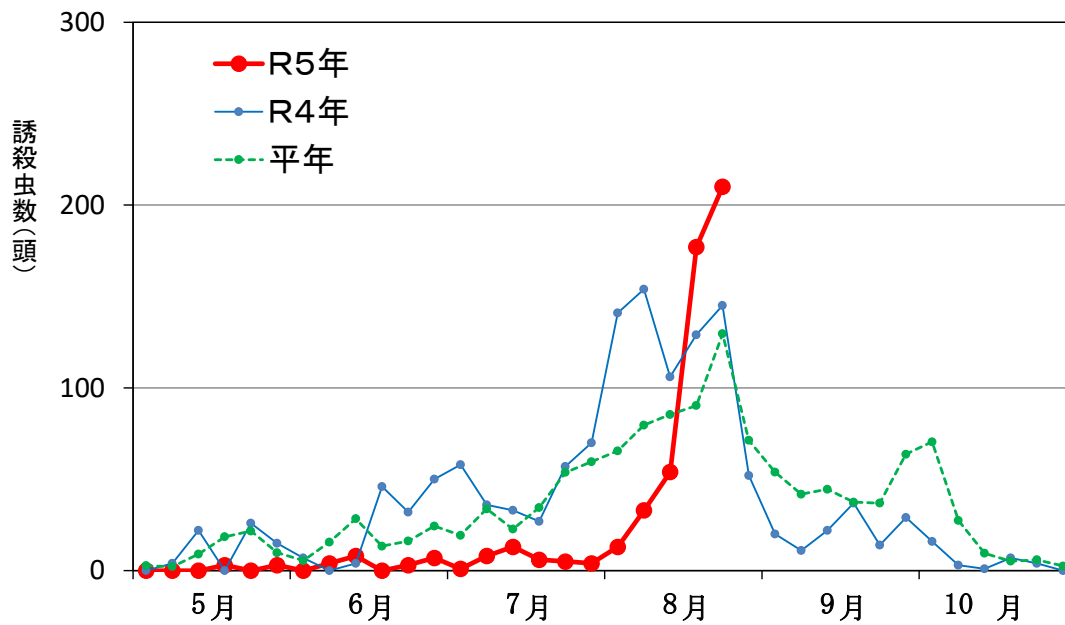


図2 果樹カメムシ類の予察灯誘殺数 (県内4か所合計)



クサギカメムシ



チャバネアオカメムシ



ツヤアオカメムシ

表 カメムシ類に登録のある主な薬剤の使用方法和残効期間

(令和5年8月30日現在・山口県病害虫防除所作成)

殺虫剤コード (系統) ※1	農薬名	登録のある作物および使用方法					残効期間 ※3 (被害防止効果)
		ナシ	リンゴ	カキ	カンキツ	キウイ フルーツ	
4A (ネオニコ チノイド)	アクタラ 顆粒水溶剤	2,000倍 前日 3回以内	2,000倍 7日前 2回以内	2,000倍 3日前 3回以内	2,000倍 14日前 3回以内		10日程度 * アドマイヤー顆 粒水和剤は 1,000倍の場 合、残効がやや 短くなる
	アドマイヤー 水和剤	1,000倍 3日前 2回以内		1,000倍 7日前 3回以内			
	アドマイヤー フロアブル				2,000～ 5,000倍 14日前 3回以内	2,000倍 前日 2回以内	
	アドマイヤー 顆粒水和剤 *	5,000～ 10,000倍 3日前 2回以内	5,000倍 3日前 2回以内	5,000～ 10,000倍 7日前 3回以内	5,000～ 10,000倍 14日前 3回以内		
	アルバリン (スタークル) 顆粒水溶剤	2,000倍 前日 3回以内	2,000倍 前日 3回以内	2,000倍 前日 3回以内	2,000倍 前日 3回以内	1,000～ 2,000倍 前日 3回以内	
	ダントツ 水溶剤	2,000～ 4,000倍 前日 3回以内	2,000～ 4,000倍 前日 3回以内	2,000～ 4,000倍 7日前 3回以内	2,000～ 4,000倍 前日 3回以内	2,000～ 4,000倍 前日 3回以内	
3A (ピレスロ イド)	テルスター 水和剤	1,000～ 2,000倍 前日 2回以内		1,000～ 2,000倍 14日前 2回以内	1,000～ 2,000倍 前日 3回以内		10日程度
	テルスター フロアブル	3,000～ 6,000倍 前日 2回以内	3,000倍 前日 1回以内	3,000～ 6,000倍 3日前 2回以内	3,000～ 6,000倍 前日 3回以内	3,000倍 前日 2回以内	
	マブリック 水和剤20	2,000倍 30日前 2回以内		2,000～ 4,000倍 30日前 2回以内	2,000～ 4,000倍 45日前 ミカン21日前 2回以内		
	アグロスリン 水和剤	1,000～ 2,000倍 前日 3回以内		1,000～ 2,000倍 前日 3回以内	2,000倍 7日前 3回以内		5～7日
1B (有機リ ン)	スプラサイド 水和剤	1,500倍 (有袋)7日前 (無袋)21日前 (有袋)3回以内 (無袋)2回以内	1,500倍 30日前 2回以内	1,500倍 30日前 3回以内	1,500倍 90日前 ミカン14日前 4回以内		1～2日
	スミチオン 水和剤40	800～ 1,000倍 (有袋)14日前 (無袋)21日前 6回以内	800～ 1,000倍 30日前 3回以内	800～ 1,000倍 30日前 3回以内			
2B (フェニル ピラゾール)	キラップ フロアブル		2,000倍 14日前 2回以内	2,000倍 7日前 2回以内			7～10日

※1 数字と記号はIRAC(殺虫剤抵抗性対策委員会)による作用機構分類コード

※2 同一成分の薬剤は使用回数を通算して数えること(散布の場合)。

※3 残効期間は他県、日本植物防疫協会およびメーカーのデータを参考に作成した。  
あくまで目安であり、天候などの条件で短くなる場合がある。